

機関番号	研究種目番号	応募区分番号	中区分	整理番号
		-		

令和XX(XXXX)年度 挑戦的研究（萌芽） 研究計画調書

令和 XX 年 XX 月 XX 日
1版

研究種目							
中区分							
研究代表者 氏名	(フリガナ)						
	(漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
研究の要約							
研 究 経 費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	総計						
開示希望の有無							

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

氏名（年齢）		所属研究機関 部局 職	学位 役割分担	令和XX年度 研究経費 （千円）	エフオ ート （%）
合計 名			研究経費合計		

研究計画調書の概要

研究計画調書に記載した「1 研究目的及び研究方法、応募者の研究遂行能力」「2 挑戦的研究としての意義（本研究種目に応募する理由）」について、その概要を2頁以内で簡潔にまとめて記述すること。

研究計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

留意事項①：

1. 本研究種目は、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させる潜在性を有する挑戦的研究を募集するものである（挑戦的研究（萌芽）については、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究計画も対象としている）。応募に当たっては自身の研究計画がその趣旨に沿ったものであるかを十分に確認すること。

＜対象となる「挑戦性」を有する研究の例＞

- ・斬新な発想に基づき、人々の好奇心を掻き立てるような研究
- ・新しい原理や学理の発見に繋がる可能性を有する研究
- ・学術の概念や体系の見直しに繋がる可能性を有する研究
- ・大きな発想の転換や斬新な方法論等の導入に繋がる可能性を有する研究
- ・既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成に繋がる可能性を有する研究

2. 挑戦的研究（萌芽）は審査区分表の中区分により、広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意の上、研究計画調書を作成すること。
3. 挑戦的研究（萌芽）では、本様式（「研究計画調書の概要」欄）に研究計画調書（Web 入力項目）の前半部分を加えた「研究計画調書（概要版）」のみによる事前の選考を行う（応募件数が少ない審査区分では、事前の選考は行わない）。本様式は書面審査では参照できないため注意すること。

留意事項②：

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文は11 ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

【研究計画調書の概要（つづき）】